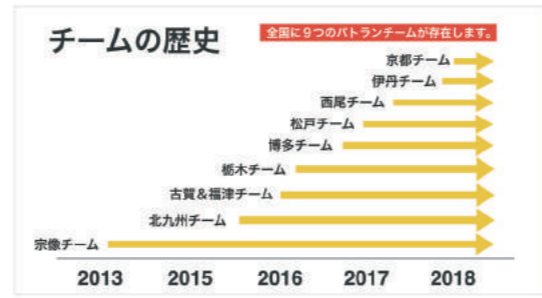


パトランチームの状況

関西初の伊丹と京都チームがスタート!

2013年にパトランを開始した当初は、福岡県宗像市での活動でした。それから2年あまりは宗像のみでの活動でしたが、2015年に YOUNG JAPAN ACTION で大賞を受賞し、浅田真央さんがパトランに参加したことをきっかけに徐々に全国各地でメンバーが増え始めます。2016年では関東エリア、2017年は中部、関西に広がりました。



各チーム代表より



2017年10月1日にチームとして9名で始動しました。昨年度の間で、多くの新聞・ラジオ・テレビに取り上げて頂いたり、伊丹警察から防犯活動の委嘱を受けたりと慌ただしくも伊丹市に密着した活動ができたこと、今年度は初年度築いた活動基盤を崩すことなく、今以上に伊丹に密着できるように定例コースの追加とチームのサポーターが増えるよう活動していきます。



京都チームは、2018年1月21日にチーム設立のキックオフをさせて頂きました。そのため、昨年度は多くの方に協力頂きながら、チーム設立に向けた準備期間でした。今期は、京都でのパトランの認知を広めると共に、パトランナーひとりひとりの回数と活動の質にもこだわりながら、パトランをより広げていきたいと考えています。



2017年度は、定例パトランや子ども見守りパトラン、様々なPRパトランを含め152回の活動を行うことができました。その中でもパトラン宗像独自の取り組みである「子ども見守りパトラン」は、対象となる小学校が3校に増え4回開催でき、ニーズに応えた活動になったと思います。今期は更に地域に密着した活動となるように、チームワーク力を発揮しながら取り組んでいきたいと思っています。



板木県に「パトラン板木チーム」が発足しては3年目となりました。メンバーも増え定期的な活動も定着し地域の安心安全を念頭の元気に活動することができました。今期の目標として地域のボランティア団体等との連携協力、サポート活動など活動範囲を広げていきたいと思っています。



古賀 & 福津チームは、来れる時に来れる人が気軽に参加しやすいアットホームなチーム作りを心がけてきました。最近ではメンバーも定着してきており、ルーリーダーをやりたいて言ってくれる方も！今後は、ルーリーダーを中心に古賀市、福津市の防犯のためにミーティングなども定期的に行い、実のあるパトランが行えるよう意識してやっていきたいと思っています。



昨年は多方面からのご協力をいただき、様々なメディア取材やイベント等があり、北九州周辺でパトランという言葉が定着してきたという実感をえました。その影響でパトラン会員数も順調に増えております。今年度はパトランの質を上げていきたいと考えています。3つの地区で地域防犯パトロール隊と開催した防犯講習会では地域の方と話をすることで、今までのパトランでは意識していなかった場所や地域の問題を知ることができました。それらを意識することで、さらに地域の防犯に貢献していきたいです。



2017年はチームとしては、右肩上がりのメンバー増で飛躍の1年となりました。2018年の松戸チームテーマは「初心」です。「パトランとはなんぞや」ということをそれぞれが再確認し、住んでいる地域の防犯の一助になるよう仲間と手を取り合いたいと思います。松戸を仲間達と住み良い街にするために。



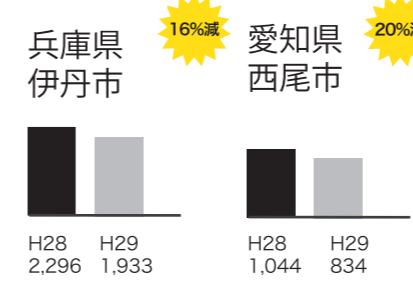
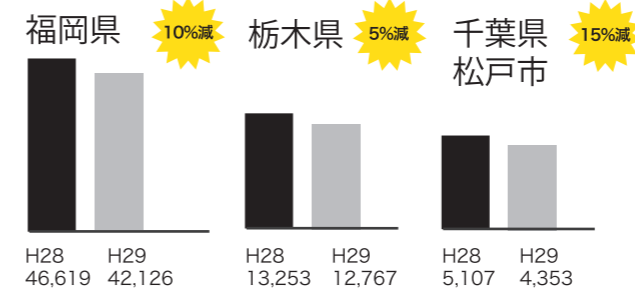
防犯意識の高揚と健康づくり、仲間づくりを旗印に「西尾の安心安全に向けて目を光らせ」行政機関と連携しながら、交通安全啓発活動に協力したり、星屑活動実施、反射タスキの配布を心がけて、昨年は310本渡すことができました。2018年の目標は街頭犯罪ゼロの街を目指してパトラン意識を高める、パトランの活動を知ってもらい、パトランの仲間増強、反射タスキの配布、オール愛知を繋げよう。



昨年は福岡市の早良区を中心拠点に添え、1年間無事なくじっくりと活動を展開してきました。他のチームと比べパトラン事務局主導で動かしていることもあり、活動をPRする機会もあり作れずメンバー数も少ないのですが、後半からは少しずつ新規メンバーも増えてきました。2018年度は活動エリアを増やしていければと思っています。

チーム活動地域での犯罪数の推移

パトランチーム活動エリアでの2017年度の刑法犯の認知件数の推移です。パトラン実施エリアに至っては、日本全体の減少率(8.1%)を大きく下回っています。

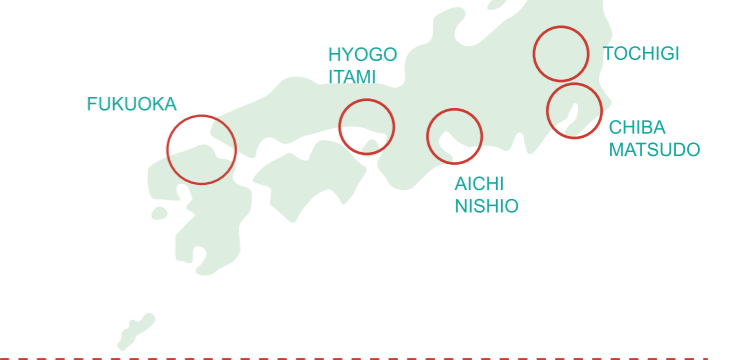


日本全体 2016年度 996,120件
915,042件 (増減率▲8.1%)
2002年をピークに刑法犯の認知件数は年々減少しています。件別では東京が最も多く、減少率では大阪が12.4%と大きく減っています。



<県別刑法犯認知件数>

1.東京	125,251(▲7%)
2.大阪	107,023(▲12.4%)
3.愛知	65,511(▲6.8%)
4.神奈川県	63,628(▲7.7%)
5.埼玉	63,383(▲8.7%)
6.千葉	52,974(▲7.5%)
7.兵庫	50,821(▲4.4%)
8.福岡	42,126(▲9.6%)



パトランを実施している全てのエリアで犯罪数が減少しました。

パトランチームの取り組み

パトランを展開する地域の状況や課題はそれぞれ違います。各チームは地域の状況に合わせ趣向を凝らした様々な取り組みを展開しています。2017年度より開始した主な取り組みをご紹介します。

警察合同パトラン 伊丹チーム

伊丹の合同パトランは、毎月3回(8・18・28日)警察の方々も毎回参加していただいています。現在、伊丹警察署員36名がパトランに参加してくれていますが、1回あたり平均10名ほどの警察署員が参加してくれています。取り組みのきっかけは、チーム伊丹が関西の情報番組「ちんぷいぷい」で紹介された事がきっかけです。番組をみていた警察署の方から連絡をいただき、委嘱と署員のパトラン参加が決まりました。

【菅原さん】パトランと警察が日々協力して活動している事を広めると、犯罪者の意識の中にパトラン=警察という認識を植え付けられパトランの犯罪抑止力が向上すると思います。パトランが積極的に警察との活動を広める事で警察の活動を透明化でき、一般人の安心と犯罪の抑止につながると考えます。

【岩佐さん】日常からの地元警察署の方と交流を持つことにより常に情報連絡の体制を築く事が出来必要な時に連携を素早く的確に行える状態を保つことが出来ています。もう一つ大切なことは、警察署の方と日常の交流からとても身近な存在になったことです。

【山岡さん】警察と連携する一番のメリットはパトランという存在が行政から認められているというのが一番大きいと感じます。警察と一緒に活動することで信頼感が全く違う気がします。



警察署員もパトランTシャツで参加

パトレポの運営 松戸チーム

パトレポは、松戸チームのメンバーがパトラン中などで見つけた道路等の破損箇所を投稿し、その情報をもとに松戸チーム内で構成するパトレポ事務局がしかるべき行政窓口へ連絡し修繕してもらい取り組みです。見つけた道路の修繕等をお願いしたい時は、①日時②タイトル③住所④レポート⑤内容⑥写真⑦マップ画像(任意)をメンバーの共有ページに掲載。それを受けたパトレポ事務局が行政窓口へ修繕要望する形で運用しています。



パトランに見つけた改善が必要な道路などを撮影し報告する

防犯講習会 北九州チーム

北九州チームが実施する防犯講習会は、小倉警察署、北九州市役所、地域の防犯パトロール隊など様々なセクターが集まり、防犯についての知識やお互いの取り組みを共有し、地域一丸となって安全づくりを進める取り組みです。地図を広げて犯罪状況を確認したり、合同パトロールも実施します。



1回あたりの講習会には40人を超える人たちが集まります。

チームの展開目指して活動中

東播磨チーム(兵庫)

チームの設立を目指し、兵庫県の東播磨で月に1~2回合同パトランを実施しています。兵庫県内でも人口当たりの犯罪件数の多い加古川市を含む地域でのパトラン活動を通して、少しでも犯罪抑制や暮らしやすい街となるよう貢献したいです。



西川 雅彦さん

